

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	1 月	7 日	記入者	北村 明美
調査者名	石井	北村	中西	橋詰	

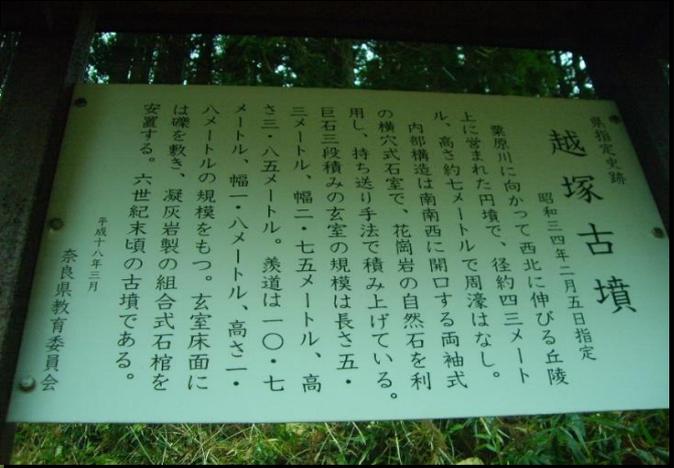
文化財名	越塚古墳				
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1959年(昭和34)2月5日				
所在地	桜井市栗原				
所有者 管理者	個人				
員数					
時代区分	6世紀末頃(越塚古墳説明板より)				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	奈良県教育委員会の説明板あり(写真参照)				
公開	見学自由				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足				
当面の課題	国道166号線を脇道へそして栗原川を渡り、舗装された農道を歩いて行く。二本のルートがあり、こんもりとした丘が古墳であるとの見当はつくが、案内板の設置がない。				
今後の課題	問題なし				
その他 (由緒など)	栗原川流域にある赤坂天王山古墳、ムネサカ古墳と並ぶ、巨大な石室を持つ古墳で、下り尾集落の東端に位置する。墳丘は直径約40m、高さ約6mの二段築成の円墳。全長約15.4mの南に開口する横穴式石室をもつ。玄室内には、二上山麓の凝灰岩で作られた組立式家形石棺の底石がある。石材が花崗岩の自然石に近く、また積み方などから、赤坂天王山古墳と同時期か、やや新しい6世紀末頃の築造かと考えられている。				
コメント	正式な調査がまだ行われていないため、被葬者や副葬品(出土品)についての詳細がわからないのが残念。今後期待したい。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2021 年	1 月	7 日	記入者	北村 明美
調査者名	石井	北村	中西	橋詰	

文化財名	越塚古墳
------	------

古墳までの道	説明板
--------	-----



墳丘を登る

古墳入り口



玄室内底石

鹿よけ防護柵と扉

